

当院の泌尿器科について

増子記念病院泌尿器科では泌尿器疾患全般を診療しておりますが、当院には慢性腎不全の患者さんが多く通院していらっしゃることから、透析患者さん・腎移植患者さんの腎癌治療、腎移植後の尿路結石治療といった比較的特殊な治療も手掛けています。特に尿路結石治療に力を入れており、体外衝撃波結石破砕装置（ESWL）・経尿道的内視鏡手術・経皮的内視鏡手術によりほぼ全ての尿路結石に対応しています。

体外衝撃波結石破砕法（ESWL）

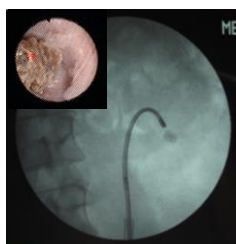
体外で発生させた衝撃波により腎・尿管の結石を破砕します。砂状に破砕された結石は、尿の流れとともに自然に排出されます。外来で日帰り治療が可能です。



Sonolith i-sys (EDAP)

経尿道的碎石術（TUL）

直径7.5Frの細径軟性内視鏡とホルミウムレーザーを用いて結石を破砕し、バスケットカテーテルにより破砕片を摘出します。低侵襲で根治性の高い治療です。2～3日間程度の入院を要します。



下腎杯結石に対するTUL

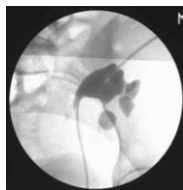


7.5Fr細径軟性尿管鏡 ホルミウムレーザー

経皮的破石術（Mini-PNL）



移植腎に対するPNL



背部から経皮的に腎瘻（16-18Frシース）を造設し、12Frの細径腎盂鏡を用いてホルミウムレーザーで結石を破砕します。従来の太いシース（25-30Fr）を用いた方法と比べ、出血のリスクが低減しました。大きな結石に対して有効な治療です。1週間程度の入院を要します。

TUL assisted PNL（TAP）

サンゴ状結石などの大きな腎結石に対しては体外衝撃波結石破砕術（ESWL）・経尿道的碎石術（TUL）では完全排石が困難ですが、経皮的・経尿道的に両方向から同時にアプローチすることで効率的な破砕が可能です。

尿路結石手術以外にも経尿道的レーザー前立腺肥大症手術（HoLEP）・経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）・腹腔鏡下腎摘出術・膀胱全摘術・尿路変更術等、泌尿器科手術全般に対応しています。

増子記念病院 泌尿器科 植木常雄